

在宅医療



在宅医療とは

在宅医療とは、医師や歯科医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、ケアマネジャー、ホームヘルパーなどの専門職が連携して、患者さんの住まい（自宅・施設など）を訪問して行う医療・ケアのことを言います。また、医師が訪問して行う在宅医療には、定期的に訪問する「訪問診療」と患者・家族の求めに応じて訪問する「往診」の2種類があります。

対象者

- ・通院することが難しい方
- ・高齢で定期的な医療の管理が必要な方
- ・認知症や寝たきりの方
- ・最期まで自宅で過ごしたい方
- ・パーキンソン病などの難病をお持ちの方 等

入院との違い

- ・入院治療より家族のサポートを必要とする
- ・本人だけでなく、家族（親族）の意思統一が必要
- ・積極的な治療は難しい

メリット

- ・住み慣れた環境で療養できる
- ・家族や友人と好きなときに過ごせる
- ・入院より自由度の高い生活が送れる

Q & A

・どうしたら在宅医療が受けられるの？

→ 入院先の病院やかかりつけ医、毛呂山越生在宅医療支援センターにご相談ください。

・病状が急変した場合は、対応してくれるの？

→ 在宅主治医や訪問看護師が24時間365日、連絡を取れる体制をとるようにしています。

・本人の希望どおり、自宅で最期を看取る場合はどうしたらいいの？

→ 事前に在宅主治医や訪問看護師に相談して、その時に備えておくことが大切です。

ケーブルテレビで「在宅医療」の番組を放送します

- ・ゆずの里ケーブルテレビで「在宅医療」の番組を放送します。
- ・今回は、在宅医療・介護を支える一員の「ケアマネジャー」をご紹介します。
- ・放映期間：令和5年1月の1か月間
- ・毛呂山町及び越生町のホームページでもご覧いただけます。ぜひご覧ください。

出前講座のご案内

病気になっても、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、「在宅医療」をひとつの選択肢として知っていただく取り組みを行っています。

「在宅医療って何?」「どんな人がどうやって受けられるの?」など、皆さまが気になることを医師や看護師、栄養士や薬剤師など、医療と介護の専門職が地域に出向き、現場の実情も加え、詳しくお話しいたします。

対象者：毛呂山町・越生町在住の方（15名程度から）

費用：無料（施設使用料はご負担いただきます）

場所：毛呂山町・越生町の施設・集会所等

時間帯：10時から16時（原則90分以内）

*新型コロナウイルス感染予防体制がとれる会場での実施となります。



お申込み・お問合せ：毛呂山越生在宅医療支援センター ☎049-295-2320

もしもの時に備えて…

通院・入院時あんしんセット

を準備しましょう！

通院・入院時あんしんセット



① 医療保険証



② 介護保険証



③ ケアマネジャーの名刺



④ お薬手帳

診察券

⑤ かかりつけ医の診察券



⑥ 人生会議

- ・通院や急な入院に備えて、「通院・入院時あんしんセット」を一緒のケース等に入れて準備しておきましょう。
- ・通院、入院した時は、「通院・入院時あんしんセット」を病院の担当者に見せてください。
- ・入院したら、なるべく早く担当のケアマネジャーに連絡してください。
- ・退院予定や転院が決まったときにも、必ずケアマネジャーに連絡してください。



※ この他、ご家族の連絡先など、ご自身で必要に思う大切なものを一緒に入れておきましょう。

- ・「人生会議～アドバンス・ケア・プランニング～」とは、安心して最期まで住み慣れた地域で生活することを目的に作成した冊子です。毛呂山町役場、越生町役場及び毛呂山越生在宅医療支援センターで配布しています。

令和5年1月発行 【編集・発行】毛呂山町 越生町 毛呂山越生在宅医療支援センター

掲載記事・在宅医療に関するお問い合わせは、毛呂山越生在宅医療支援センターまで

毛呂山町毛呂本郷1006
くらしワンストップMORO HAPPINESS館内

☎ 049-295-2320（平日9:00～17:00）